



と野火止用水
江戸時代に老中松平伊豆守信綱によって造られました。玉川上水開削の功績が認められ、玉川上水7、野火止用水3の水量で分水がゆるぎました。玉川上水から最初に分水された用水で、立川市を起点とし、埼玉県の新河岸川に注ぎます。長さ約24kmの用水路です。

狭山・境緑道 (花小金井駅北口花壇)
狭山湖から境浄水場を結ぶ導水路上の緑道です。中央部分は自転車と歩行者専用道となっています。花小金井付近では、桜が植樹され、春には見事な桜のトンネルになります。

